

調査結果のご案内

広報・メディア対応の専門誌『広報会議』(宣伝会議刊)が独自調査

全国の男女 1000 人が選ぶ、2018 年の「ワースト不祥事」

1 位は「日大アメフト部 悪質タックル問題」

2 位「『はれのひ』突然の営業中止」 3 位「レスリング・伊調選手がパワハラ告発」

ボクシング・体操・バスケットなど、スポーツ界でも相次いで不祥事が発覚。
組織風土やコンプライアンスが問われる事態に。

広報・メディア対応の専門誌『広報会議』(株式会社宣伝会議発売、社会情報大学院大学出版部発行)は11月、2018年に発覚した企業・団体・個人の不祥事に関し、全国1000人の男女(20~60代)を対象に、「最もイメージダウンした出来事」についてアンケート調査を実施しました。

2018年1月~10月に発覚した不祥事18事例(※)のうち、著しくイメージダウンした出来事を上位3例まで選択してもらったところ、1位は「日大アメフト部悪質タックル問題」(58.1%)に。以下、「『はれのひ』成人式の日突然の営業中止」(48.2%、2位)、「レスリング・伊調馨選手、栄和人氏をパワハラ告発」(22.6%、3位)、「文科省・東京医科大学の裏口入学と相次ぎ発覚した入試不正」(18.5%、4位)と続きました。

(※)調査対象とした18事例は、編集部が危機管理の専門家の監修のもと選定。

2018年は、2017年下半期に引き続いて「データ改ざん問題」が相次ぎ、「組織風土」や「コンプライアンス」が問われました。特に、その流れがスポーツ界にも波及したのが特徴です。日大アメフト問題やレスリングのパワハラ問題など、スポーツチームに古くからある組織構造や慣習に起因する不祥事が続き、世間からの厳しい目が向けられました。

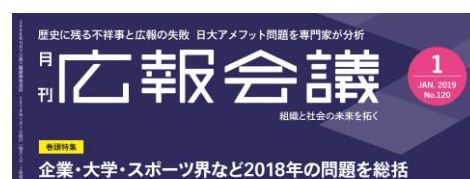
<詳細は、3枚目の【資料1】をご覧ください>

【2018年 イメージダウンした不祥事ランキング】

(括弧内は回答者1000人中の選択者数の割合)

- 1位: 日大アメフト部 悪質タックル問題(58.1%)
- 2位: 「はれのひ」成人式の日突然の営業中止(48.2%)
- 3位: レスリング・伊調馨選手、栄和人氏をパワハラ告発(22.6%)
- 4位: 文科省・東京医科大学の裏口入学と相次ぎ発覚した入試不正(18.5%)
- 5位: スルガ銀行がシェアハウスに不正融資発覚(17.5%)
- 6位: 日本ボクシング連盟、内部告発と助成金の流用問題(16.8%)
- 7位: SUBARU・日産・スズキなど自動車メーカーの品質不正(15.0%)
- 8位: 体操界におけるパワハラ告発問題(11.2%)
- 9位: 中央省庁や自治体の障害者雇用水増し問題(11.1%)
- 10位: 財務省・福田事務次官セクハラで辞任(10.4%)

<詳細、それぞれ選択した理由は、3~4枚目の【資料2】をご覧ください>



■本件に関するお問い合わせ

株式会社宣伝会議 広報室 03-3475-3030(TEL)

【本調査について】

本調査は、広報・PRの専門誌『広報会議』（毎月1日発売）の2019年1月号（2018年12月1日発売号）に掲載の巻頭特集「危機管理広報2019」の中で実施したものです。特集内では、ランキング結果を踏まえて危機管理の専門家やジャーナリストらが広報対応の重要性について分析しています。

■調査概要：広報会議編集部「2018年に発覚した企業・個人の不祥事」に関するアンケート

調査方法：インターネットリサーチ／対象：全国、20～69歳の男女（平成27年国勢調査による、エリア×性別×年代別の人口動態割付）／有効回答数：1000／期間：2018年11月8日～9日

■「広報会議」について

○発売元／株式会社宣伝会議 ○発行元／社会情報大学院大学出版部

○判型／A4変型、平とじ、144ページ ○定価／1,300円（税込）

○販売／全国有力書店ならびに定期購読 ○発行部数／5万部

○主要読者／経営者、広報担当者、PR会社、宣伝担当者、マーケター、ブランドPR、広告会社、経営コンサルティング会社、調査会社、ブランドコンサルティング会社、学生、地方自治体など

○株式会社宣伝会議は、1954年に創業したマーケティング・コミュニケーションの総合シンクタンク。マーケティングに関わるすべての人に向け、雑誌・書籍の出版や教育講座を全国展開しています。

【参考】過去の同一調査のランキング結果

■2017年 豊田議員、大手メーカーの不正が上位に

1位：豊田真由子氏が元秘書に暴言「このハゲー！」（51.8%）／2位：神戸製鋼のデータ改ざん問題（40.2%）／3位：日産自動車の無資格検査発覚（37.0%）／4位：元SPEED・今井絵理子議員の不倫騒動（31.9%）／5位：旅行者「てるみくらぶ」倒産（26.9%）／6位：東芝で相次いだ決算発表延期（24.3%）／7位：惣菜店「でりしゃす」O157感染問題（17.1%）／8位：ヤマト運輸値上げと残業代未払い（11.6%）／9位：SUBARUの無資格検査発覚（9.4%）／10位：タカタの民事再生法申請（7.2%）

※詳細は下記も併せてご覧ください。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000152.000002888.html>

■2016年 舛添要一・ベッキー・電通問題に注目

1位：舛添要一・前東京都知事の政治資金問題（39.1%）／2位：ベッキー&ゲスの極み乙女。川谷の不倫騒動（37.7%）／3位：電通の新入社員・過労死問題（31.2%）／4位：三菱自動車・燃費偽装問題（28.1%）／5位：東京都・豊洲新市場の欠陥問題（24.9%）／6位：高畑裕太・強姦致傷で逮捕（23.8%）／7位：慶應義塾大学の女子学生集団暴行事件（20.5%）／8位：SMAP解散騒動（15.5%）／9位：東大生が強制わいせつ容疑で逮捕（13.6%）／10位：はごろもフーズ・異物混入問題（9.9%）

※詳細は下記も併せてご覧ください。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000093.000002888.html>

■2015年「傾きマンション」・マクドナルド・東京五輪エンブレムがトップ3に

1位：旭化成建材・三井不動産「傾きマンション」（67.2%）／2位：マクドナルド・異物混入（39.2%）／3位：東京五輪エンブレム問題（35.2%）／4位：フォルクスワーゲン・排ガス不正（33.0%）／5位：東芝・不正会計（27.4%）／6位：日本年金機構 情報流出（23.0%）／7位：大塚家具・お家騒動（21.0%）／8位：読売巨人軍・野球賭博関与（19.4%）／9位：東洋ゴム工業・免震ゴム偽装（15.4%）／10位：タカタ・エアバッグ異常破裂（13.8%）

※詳細は下記も併せてご覧ください。

<http://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000052.000002888.html>

■本件に関するお問い合わせ

株式会社宣伝会議 広報室 03-3475-3030(TEL)

【資料1】◎2018年に発覚した主なスポーツ界の不祥事

- 1月 カヌー・スプリント男子選手、禁止薬物混入事件
- 3月 レスリング伊調馨選手が栄和人氏をパワハラ告発
- 4月 バドミントン実業団元監督、賞金の私的流用が発覚
- 5月 日大アメフト部の悪質タックル問題
- 7月 日本ボクシング連盟、内部告発と助成金の流用問題
- 8月 全日本剣道連盟の金銭授受問題
バスケ日本代表選手の買春問題
体操界におけるパワハラ告発問題

【資料2】◎2018年「イメージダウンした不祥事」ランキング詳細について

2018年1月～10月までに発覚した企業・団体・個人の不祥事18事例から特にイメージダウンした出来事を上位3例まで選択。選択した理由を自由記述で回答してもらった(%は1000人中の選択者数の割合)

※調査対象の方々から寄せられた意見であり、本調査の見解を示すものではありません。

■1位:日大アメフト部 悪質タックル問題(58.1%)

- ・大学の印象が悪くなり、新入生に不安感を与えた(27歳・男性)
- ・大学側が生徒を守ろうとしていなかった(21歳・女性)
- ・記者会見時の日大側広報担当の対応のまずさで決定的になった(42歳・男性)
- ・学生さんの誠実さを踏みにじっていて連日の報道は見ていて辛かった(38歳・女性)

■2位:「はれのひ」成人式の日突然の営業中止(48.2%)

- ・自分も今年が成人式だけあってとても被害者に同情してしまった(21歳・男性)
- ・一生に一度の大切な日の当日になって全く連絡がつかないという悪質さ(30歳・男性)
- ・着物レンタル業界のイメージが一気に悪化。当日レンタルは、不安になる(29歳・女性)
- ・今どきのインターネットでの申し込みは危険がいっぱいで、やっぱり地元のしっかりした業者にしないといけなかった(64歳・女性)

■3位:レスリング・伊調馨選手、栄和人氏をパワハラ告発(22.6%)

- ・加害者と被害者の意見の食い違いに呆れた(21歳・男性)
- ・大学の女学長がふてぶてしく否定していた(34歳・男性)
- ・一連のスポーツ関連のパワハラ問題の端緒となった事件。権力を持った人間の醜さを強く感じた(62歳・男性)
- ・コーチや監督を長年やって、選手がオリンピックでメダルを取ると、権力者になってしまうんだなと思った(42歳・女性)

■4位:文科省・東京医科大学の裏口入学と相次ぎ発覚した入試不正(18.5%)

- ・不正によって入学できた学生、入学が阻まれた学生の数の多さに、人の人生を権力者が簡単に書き換えてしまう怖さを感じた(42歳・男性)
- ・不正が発覚した後、被害者が全員納得できるような措置を取ったように思えない(22歳・女性)
- ・女性差別も甚だしい。ただでさえ女性は雇用の場で差別されてしまうことがあるのに、医師になるために勉強に励んでいる女子学生に失礼(33歳・女性)

■5位:スルガ銀行がシェアハウスに不正融資発覚(17.5%)

- ・こんなブラックな企業は許せない(64歳・女性)
- ・オーナーが記者会見に出てこない(29歳・男性)
- ・客の口座の数字の画像データをいじったと報じられて驚き(27歳・女性)
- ・銀行不信になる大きな事件。融資関係は疑ってかからないといけなかった(60歳・女性)

■本件に関するお問い合わせ

株式会社宣伝会議 広報室 03-3475-3030(TEL)

■6位:日本ボクシング連盟、内部告発と助成金の流用問題(16.8%)

- ・多数の人からの証言があるにもかかわらず認めず謝罪もないという人格に問題を感じる(29歳・女性)
- ・1人の人間を長くトップの位置にしていると組織が腐る、という良い例(57歳・男性)
- ・真相が解明されぬまま会長が辞任した(40歳・男性)

■7位:SUBARU・日産・スズキなど自動車メーカーの品質不正(15.0%)

- ・品質を信じて車を購入する消費者は何を信じればいいのか?(54歳・女性)
- ・不正発覚後でさえ不正をしているという無神経さが凄い(38歳・男性)
- ・データの改ざんという消費者には分からない不正をした(41歳・男性)

■8位:体操界におけるパワハラ告発問題(11.2%)

- ・コーチがピンタしている動画が公開されて衝撃(43歳・男性)
- ・真実がよく分からなかった(55歳・女性)
- ・この事件で協会側の圧力が公になってしまった。もっと選手を大切にすべきだと思う(37歳・女性)

■9位:中央省庁や自治体の障害者雇用水増し問題(11.1%)

- ・指導する立場の行政が水増しするなんて考えられない。民間にばかり厳しいのではついていけない(44歳・男性)
- ・障害者をバカにした行為としか取れない。(51歳・男性)
- ・水増ししている事実をすぐに公表しないで調査中と言って公表を遅らせた対応(57歳・女性)

■10位:財務省・福田事務次官セクハラで辞任(10.4%)

- ・録音テープで自身の声が聞こえているのに「知らない」というふてぶてしい態度に怒りがわく(64歳・女性)
- ・リアルに気持ち悪い。権力を使ってやりたい放題をしていると感じた(31歳・女性)
- ・財務省のいい加減な体質が改善しない。責任を取る動きがない(34歳・男性)
- ・被害者に対するバッシングも含めて、セクハラに対する男性の無理解さが分かったから(27歳・女性)

以上

■本件に関するお問い合わせ

株式会社宣伝会議 広報室 03-3475-3030(TEL)